

熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	基礎製図I	
科目基礎情報							
科目番号		0010		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		建築社会デザイン工学科		対象学年		1	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		はじめでの建築製図（学芸出版社）、プリント					
担当教員		森山 学					
到達目標							
1. 製図用具を適切に使用し、手書きにより丁寧に作図できる。 2. 図面の種類、製図規約、製図記号（木造建築）を覚え、活用できる。 3. 平面図、断面図、立面図の記載内容を正確に描くことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		製図用具を適切に使用し、手書きにより丁寧に作図できる。		製図用具を使用し、手書きにより作図できる。		製図用具を使用した手書きの作図ができない。	
評価項目2		図面の種類、製図規約、製図記号（木造建築）を覚え、活用できる。		図面の種類、製図規約、製図記号（木造建築）を覚えることができる。		図面の種類、製図規約、製図記号（木造建築）を覚えることができない。	
評価項目3		平面図、断面図、立面図の記載内容を正確に描くことができる。		平面図、断面図、立面図の記載内容をおおよそ描くことができる。		平面図、断面図、立面図の記載内容に対する理解が不足し、描くことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		5年間の設計科目の導入科目である。設計への動機づけと、設計に必要な設計・製図の知識と技術の基礎を習得する。具体的には①図面の種類・役割、製図用具の使用方法、作図練習、②製図規約・製図記号、木造住宅の仕組みと図面模写、木造住宅の事例学習、を実施する。					
授業の進め方・方法		3-4名のグループを形成する。毎回、目標を掲げる。 授業冒頭で、当日の演習に関係する講義をする。設計への関心向上とリアリティに重点を置きつつ、教科書、配布プリント、プロジェクター、現物を使用して行う。知識の習得状況をクイズや試験により確認する。演習では各自で集中しつつグループ内で質問・教示しあえるよう促し、教員はその補助にあたる。自己点検、グループ内の相互点検を実施する。					
注意点		・入学時のやる気をより高めていくことができる授業を行います。一緒に良い授業を作りましょう。 ・演習科目を通じて、自分の癖（遅いけど丁寧、早いけど雑など）を知りましょう。その癖に応じてどんな取組み方が必要かを自分で考えましょう。 ・理解できないとか、頭で考えてばかりで手が動かせないというときは、早めに相談してください。初めての専門科目ですから恥ずかしがることはありません。それを乗り越えることの方が大切です。 ・締切を守ることがとても大切です。プレッシャーに弱くてもプレッシャーに少しずつ慣れましょう。締切を過ぎると60点満点での評価になります。 ・実際の建物や建築系雑誌などで、いい事例を見ましょう。このデザインを今度使ってみようと、考えながら見ましょう。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、図面の種類と役割		図面の種類・役割を理解する。		
		2週	製図規約・製図記号 木造軸組み工法の仕組みと図面		規約、製図記号（木造建築）を理解する。木造の図面を理解する。		
		3週	製図用具の使用方法と作図練習		製図用具の使用方法を理解、作図できる。		
		4週	事例		木造の図面を理解する。		
		5週	平面図のポイント、模写		平面図の記載内容を理解し正確に描くことができる。 製図用具を適切に使用し丁寧に作図できる。		
		6週	配置図・平面図の模写		同上		
		7週	平面図の模写		同上		
		8週	平面図の模写		同上		
	2ndQ	9週	断面図のポイント、模写		断面図の記載内容を理解し正確に描くことができる。 製図用具を適切に使用し丁寧に作図できる。		
		10週	断面図の模写		同上		
		11週	断面図の模写		同上		
		12週	立面図のポイント、模写		立面図の記載内容を理解し正確に描くことができる。 製図用具を適切に使用し丁寧に作図できる。		
		13週	立面図の模写		同上		
		14週	立面図の模写		同上		
		15週	（定期試験）				
		16週	自己点検・相互点検、事例、面積計算、添景の練習		木造の図面を理解する。面積計算の方法を理解する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	製図	線と文字の種類を説明できる。		1	前2
				平面図形と投影図の描き方について、説明できる。		2	前5,前9,前12
		建築系分野	構造	木構造の特徴・構造形式について説明できる。		3	
				木材の接合について説明できる。		3	

				基礎、軸組み、小屋組み、床組み、階段、開口部などの木造建築の構法を説明できる。	3	
			設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	2	前3
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	2	前3
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	2	前3
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	2	前1,前2,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	2	前5,前9,前12
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	2	前2

評価割合							
	試験	模写	夏季課題				合計
総合評価割合	40	40	20	0	0	0	100
基礎的能力	40	40	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0